

基本方針 2 公私の切磋琢磨により高校の教育力を向上させます (2) 活力あふれる府立高校づくりをすすめます

【重点取組の点検結果】

項目		目標 (目標年次)	H24 年度実績 (計画策定時)	H26 年度実績	進捗 状況	実施事業 (H26 年度)	
重点取組	具体的取組					事業名	実施内容
7 社会の変化やニーズを踏まえた府立高校の充実	24 グローバルリーダーズハイスクール (進学指導特色校) の充実	進学実績等の向上、取組みの活性化など、パフォーマンスのさらなる向上 (H25 年度～)	グローバルリーダーズハイスクール 10 校	グローバルリーダーズハイスクール 10 校すべてにおいて、大学進学実績が向上	○	グローバルリーダーズハイスクール支援事業費	<ul style="list-style-type: none"> ◆10校共同の取組みを実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・学力診断共通テストの実施 (4/9) ・海外派遣研修 (生徒 20 名をハーバード大学などに派遣 (7/27～8/3)) ・京都大学・大阪大学と連携した取組み (京大キャンパスガイド (12/13)、阪大ツアー2014 (11/16) など) ・10校合同発表会 (2/7、大阪大学会館) ◆10校の評価を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・5名の外部有識者で構成する評価審議会を開催し、平成 25 年度及び平成 23 年度から平成 25 年度の3年間の各校の評価を行い、結果を公表 (H26.7) ・平成 26 年度評価に向け、評価審議会委員による学校視察 (H27.2)、学校長からのヒアリング (H27.3) を実施
		再指定制度の構築 (指定校入替、新規指定など) (H25 年度～)		再指定制度を構築、H27 年度より改めて3年間の指定		再指定制度を構築し、平成 27 年度より 10 校を再指定、新規指定は見送った。	
		文理学科の拡充の検討 (H25 年度～)		H28 年度より 2 校について文理学科の拡充を決定		平成 28 年度より 2 校 (北野高校、天王寺高校) についてはすべての学級を文理学科として募集することを決定した。	

項目		目標 (目標年次)	H24 年度実績 (計画策定時)	H26 年度実績	進捗 状況	実施事業 (H26 年度)	
重点取組	具体的取組					事業名	実施内容
7 社会の変化やニーズを踏まえた府立高校の充実	25 国際関係学科の充実	国際関係学科の新たな方向性を検討 (H25 年度～)	・国際教養科を設置する学校 6校 ・国際文化科を設置する学校 3校 ・国際科(グローバル科)を設置する学校 0校	H28 年度より、府立箕面高校が国際教養科を国際科(グローバル科)へ改編することを決定	○	国際関係学科の充実	平成 28 年度入学生より年次進行で、府立箕面高校が国際教養科を国際科(グローバル科)へ改編することを公表した(12/22)。
	26 新たな学科・コースの設置や改編	新たな専門学科の設置(専門コースからの移行を含む) (H25 年度～)	専門学科 35 校	H28 年度より、府立箕面高校が国際教養科を国際科(グローバル科)へ改編することを決定 ※専門学科 35 校	○	新たな学科・コースの設置や改編	平成 28 年度入学生より年次進行で、府立箕面高校が国際教養科を国際科(グローバル科)へ改編することを公表した(12/22)。(再掲)
新たな専門コースの設置 (H25 年度～)	専門コース設置校 30 校	府立布施高校に 2 コースを新たに開設 専門コース設置校 29 校 (計 37 コース)	H27 年度及び 28 年度の各年度 4 校に専門コースを新たに設置することを決定	◆府立布施高校に 2 つの専門コース(理数アドバンスト・人文アドバンスト)を新たに開設した。 ◆平成 27 年度及び 28 年度の各年度 4 校に専門コースを新たに設置することを決定した。 (平成 27 年度) ・府立桜塚高校 ・府立香里丘高校 ・府立八尾翠翔高校 ・府立日根野高校 (平成 28 年度) ・府立豊島高校 ・府立北かわち阜が丘高校 ・府立みどり清朋高校 ・府立懐風館高校			

項目		目標 (目標年次)	H24 年度実績 (計画策定時)	H26 年度実績	進捗 状況	実施事業 (H26 年度)	
重点取組	具体的取組					事業名	実施内容
7 社会の変化やニーズを踏まえた府立高校の充実	27 工科高校の充実	高度な職業資格合格者 300 人 (H29 年度)	高度な職業資格合格者 150 人	高度な職業資格合格者数 190 人	△	実業教育充実事業	◆基金事業を活用し、熟練技術者の指導による高度な職業資格の取得や、課題研究のレベルアップを図った。 ◆老朽化や安全性を考慮し設備の更新及び施設の改修を行うとともに、産業界からのニーズや学習指導要領に対応した設備を導入した。 ◆平成 26 年 4 月から工科高校 9 校がそれぞれの持つ強みを生かし、人材育成を重点化した 3 つの型 (①「高大連携重点型」、②「実践的 技能養成重点型」、③「地域産業連携重点型」) に分け、目的に応じたカリキュラムや学習プログラムを展開した。
		工科系大学への進学実績 200 人 (H29 年度)	工科系大学への進学実績 121 人	工科系大学への進学実績 76 人			教員の「1 人 1 資格」の実態調査の内容及び個人情報に配慮した調査方法を検討した。
		教員の「1 人 1 資格」 (H29 年度)	—	調査方法の検討			
	28 農業高校の充実	—	—	—	—	農業高校の充実	◆「今後の大阪における農業教育のあり方の提言書」(平成 25 年 3 月)を踏まえ、生産だけでなく商品開発・流通販売まで踏み込んだ 6 次産業化への対応を進めるべく、食品加工室や鶏舎豚舎の改修に向けたスケジュールを策定した。(商品開発例：農芸ポーク、おからパン、桜ジャム、ゆずハチミツボン酢等) ◆企業と連携した実習・インターンシップを実施した。 (高島屋、大阪国際空港、大和リース、第一パン等) また、大学・企業の技術者を招へいした課題研究や実習、講演会を実施した。(大阪大学、近畿大学、東京農業大学、立命館大学等) ◆JR 大阪駅にて、大阪農業高校展 (8/4～8/8) を開催した。

項目		目標 (目標年次)	H24 年度実績 (計画策定時)	H26 年度実績	進捗 状況	実施事業 (H26 年度)	
重点取組	具体的取組					事業名	実施内容
7 社会の変化やニーズを踏まえた府立高校の充実	29 大阪府教育センター附属高等学校の充実	—	—	—	—	大阪府教育センター附属高等学校の充実	<ul style="list-style-type: none"> ◆外部連携による授業プログラムの開発 <ul style="list-style-type: none"> ・1年の学校設定科目「探究ナビ I」において、企業の協力を得て、携帯電話などの商品開発について、生徒が研究発表した。 ◆ICT 機器を活用した授業の実践 <ul style="list-style-type: none"> ・「探究ナビ」や体育において、タブレット端末を活用した授業を実施した。 ・英語において、電子黒板を活用した授業を実施した。 ◆観点別評価についての研究と成果の普及 <ul style="list-style-type: none"> ・文部科学省事業の「多様な学習成果の評価手法に関する調査研究」を実施した。
	30 生徒の「学び直し」等を支援する新たな学校の設置	—	—	—	—	エンパワメントスクールの設置	<ul style="list-style-type: none"> ◆「平成 25 年度実施対象校」について <ul style="list-style-type: none"> ・平成 25 年度に設置を決定したエンパワメントスクール 3 校（西成高校、長吉高校、箕面東高校）の教育内容の充実に向けて、教育課程を編成し、施設、設備の整備を実施した。（平成 27 年 4 月開校） ・エンパワメントスクールを紹介するパンフレットを作成し、府内中学校 3 年生全員に配付した。 ・府内各地域で開催される中学校長や進路担当教員等の会合でエンパワメントスクールについて情報提供を行った。 ◆「平成 26 年度実施対象校」について <ul style="list-style-type: none"> ・9月の教育委員会会議でエンパワメントスクール 2 校（成城高校、岬高校）の設置を公表。その後、11月の教育委員会会議にて最終決定した（平成 28 年 4 月開校予定）。

項目		目標 (目標年次)	H24 年度実績 (計画策定時)	H26 年度実績	進捗 状況	実施事業 (H26 年度)	
重点取組	具体的取組					事業名	実施内容
7 社会の変化やニーズを踏まえた府立高校の充実	31 通信制の課程の充実	—	—	—	—	通信制の課程の充実策の検討	<p>◆通信制の課程の充実については、平成 25 年度から平成 30 年度を計画期間とする「大阪府立高等学校・大阪市立高等学校再編整備計画」(平成 25 年 11 月策定)において、「引き続き検討を行う」こととした。</p> <p>◆平成 26 年度は、府内で株式会社立の通信制高校が設置されたこともあり、このような状況の変化も含め、今後の通信制課程に対する生徒のニーズや志願動向を見極めるための情報収集を行った。</p>
	32 生徒の授業アンケートを活用した授業改善	「授業アンケート分析システム」の完成 (H25 年度)	「授業アンケート分析システム」の作成開始	H25 年度に目標達成	◎	授業評価・授業改善推進事業 「授業アンケート分析システム」	<p>◆校務処理システムから基礎データを作成する「校務授業アンケートシステム」を完成し、その活用マニュアルを改編するとともに、「授業アンケート分析システム」の活用マニュアルと併せて各学校に配付した。</p> <p>◆各校の授業改善の取組みのうち、グッドプラクティスとして7校の取組みを府立学校メールマガジンで公表し、府立学校で共有した。</p>
		府立高校全校に対するパッケージ研修支援の完了 (H27 年度)	府立高校 27 校に対し、パッケージ研修を実施	府立高校 36 校に対し、パッケージ研修を実施 ※累計 (H25～26 年度) 89 校	○	府立高校パッケージ研修支援	授業評価等から明らかになった授業改善に関する課題を解決すべく、組織的な校内研修体制を確立するとともに、教員全体の授業力を向上させるため、各校の実態に応じた授業観察シートを作成するなど、継続的な支援を実施した。
8 生徒の自立を支える教育の充実	33 デュアル総合学科の設置及び「デュアル実習」実施校の拡大	「デュアル実習」実施校の拡大 5 校 (H29 年度)	「デュアル実習」実施校 2 校	「デュアル実習」実施校 3 校	○	デュアル総合学科の設置及び「デュアル実習」実施校の拡大	デュアル実習の成果を広げるため、府立布施北高校でデュアル発表会を実施した。(11/22)

項目		目標 (目標年次)	H24 年度実績 (計画策定時)	H26 年度実績	進捗 状況	実施事業 (H26 年度)	
重点取組	具体的取組					事業名	実施内容
	34 「夢や志をはぐくむ教育」の推進	—	—	—	—	「志(こころざし)学」の実施	平成26年度大阪府教育センター研究フォーラムの分科会(12/26)において、「志(こころざし)学」の取組みについて、実践発表とパネルディスカッションを実施し、「志(こころざし)学」実践事例集の作成に向け、優れた実践例を蓄積した。 (府内幼小中高教員・指導主事30人参加)
8 生徒の自立を支える教育の充実	35 不登校の減少・中途退学防止の取組み	中途退学の課題が集中する学校に対して中退防止コーディネーターを配置 (H29年度)	中退防止コーディネーターの配置35校	中退防止コーディネーターの配置33校	○	中退防止コーディネーター配置	◆中退防止コーディネーターを配置している学校からのヒアリングを実施し、今年度の取組みや数値目標、校内組織の体制について確認した。 ◆中退防止コーディネーター連絡協議会を2回実施し、各校の取組みを共有化した。 ◆12月に中退防止フォーラムを開催し、全府立高校及び市町村立中学校を対象に、取組みの成果を発信した。
		冊子「中退の未然防止のために」(改訂版)をすべての学校で活用する (H29年度)	冊子「中退の未然防止のために」を活用	冊子「中退の未然防止のために」の改訂に向けて、実践事例を収集		「中退の未然防止のために」改訂	「中退の未然防止のために」の冊子の活用の促進と、冊子改訂に向け、効果的な取組みの事例を取り入れるために実践事例の収集を行い、改訂に向けた冊子の編集作業に着手した。
		—	—	—	—	教育センターにおける相談機能の充実	様々な悩みを持つ子どもや保護者等に対し、効果的かつ効率的な相談を実施した。 ・専用電話相談の実施 ・24時間相談窓口の実施 ・教職員の悩みの相談の実施 ・対面相談の実施 ・集中電話相談の実施及びインターネットによるメール相談の実施

項目		目標 (目標年次)	H24 年度実績 (計画策定時)	H26 年度実績	進捗 状況	実施事業 (H26 年度)	
重点取組	具体的取組					事業名	実施内容
8 生徒の自立を支える教育の充実	35 不登校の減少・中途退学防止の取組み	高校適応指導教室の充実 (H29 年度)	高校適応指導教室の設置数 1カ所	高校適応指導教室の設置数 1カ所 (入室者数延べ19名)	○	高校適応指導教室の設置	不登校生徒に対する支援プログラムを開発し、学校訪問を通じて支援プログラムの普及を図った。
		サポート拠点数 10カ所 (H29 年度)	サポート拠点数 1カ所	サポート拠点数 8カ所	○	高校中退・不登校フォローアップ事業	若者等を支援する NPO 等の専門支援員が、学校内外に設置した居場所(カフェ等)を訪れた生徒に対し、教員からの情報も参考に様々な相談に応じ、個々の生徒の状況に応じた支援プログラムを作成し、学業復帰等を支援した。 ※NPO 等4団体が計8校と連携し、529人を支援(延べ10,649人)
	36 障がいのある生徒の高校生活をサポートするための人材の配置	スクールカウンセラーや学校生活支援員、学習生活支援員を希望する全府立高校に配置 (H26 年度)	スクールカウンセラー151校配置 ・学校生活支援員(介助員)34校 ・学習生活支援員(学習支援員)28校	スクールカウンセラーを全府立高校に配置 ・学校生活支援員(介助員)28校 ・学習生活支援員(学習支援員)24校	○	障がいのある生徒の高校生活支援事業	エキスパート支援員として、全ての府立高校にスクールカウンセラーを配置した。 生徒一人ひとりの障がいの状況に応じた学校生活支援を行うため、希望するすべての高校に学習支援員、介助員を配置した。
		37 長期入院している生徒等への学習支援 【具体的取組46の一部再掲】	学校からの要請に基づき非常勤講師を配置 (H25 年度～)	非常勤講師を6校に配置	非常勤講師を13校に配置	○	長期入院生徒学習支援事業
		遠隔授業システムの運用開始 (25 年度)	—	H25 年度に目標達成	◎	長期入院生徒学習支援事業	2校が遠隔授業サポートシステムを利用した。また、受付フロー・作業チェックリストの整備を行った。

項目		目標 (目標年次)	H24 年度実績 (計画策定時)	H26 年度実績	進捗 状況	実施事業 (H26 年度)	
重点取組	具体的取組					事業名	実施内容
9 つながり をはぐくむ 学校づくり	38 学校協議会による保護者・地域ニーズの反映 【基本方針 7 具体的取組 124 の再掲】	学校協議会に関する情報の公表状況 100% (H29 年度)	学校協議会に関する情報の公表状況 87.0%	学校協議会に関する情報の公表状況 97.4%	○	学校協議会の運営 保護者の申し出制度	全ての府立学校において、学校協議会委員の委嘱を行い(平成 24 年 8 月)、運営を開始。全府立学校で年 3 回以上会議を開催した。また、学校協議会に関する情報を公表していない学校に対し、個別に指導を行った。 保護者が、郵送、投稿、メール等により協議会に授業や教育活動に関して意見書を提出できるようにするとともに、意見について、必要に応じて協議会での調査審議を経て、校長に具申されるよう条件を整備した。
	39 専門的知識を有する社会人の積極的な活用	人材バンク登録者数 7,000 人 (H29 年度)	人材バンク登録者数 5,556 人	人材バンク登録者数 6,593 人	○	社会人等活用推進事業	【特別非常勤講師】 教員では担当できない領域や内容について、専門的知識・技能を有する社会人等(担当する教科の教員免許状を持たない)が授業を担当し、生徒の学習活動などに対する成績評価を行った。(87 校、計 21,206 時間) 【社会人等指導者】 文科系部活動、帰国・渡日生に係る異文化交流指導、福祉に係る授業において、専門的知識・技能を有する社会人等が教職員の補助的な立場で教育活動を支援した。 ・文科系部活動 138 校、計 2,682 回 ・帰国・渡日生支援 13 校、計 553 回 ・福祉に係る授業 17 校、計 407 回

項目		目標 (目標年次)	H24 年度実績 (計画策定時)	H26 年度実績	進捗 状況	実施事業 (H26 年度)	
重点取組	具体的取組					事業名	実施内容
9 つながり をはぐくむ 学校づくり	40 中高一貫 教育の取組み	連携中学生の能勢高校入学割合 50.0% (H29 年度)	連携中学生の能勢高校入学割合 35.8%	連携中学生の能勢高校入学割合 45.0%	○	連携型中高一貫 教育の充実	(能勢高校) 能勢町教育委員会、中学校長を含めた会議を設置し、中高連携活動の充実や教育課程の改善などに向けた研究を行った。 ◆会議の開催 ・小中高一貫教育総会 (4/16、小中高教員が参加) ・能勢高校の魅力化を考える会 全9回 ・能勢高校を応援する会総会 (7/20) ◆生徒交流 ・能勢高校体験入学 (7/8, 10/17, 2年全員) ・能勢高校文化祭 (9/27) ・能勢高校土曜日講習会 (10月～2月12回) ・小中高一貫教育研究発表会 (11/21) ◆教員交流 ・子ども支援部会 (全4回)、進路指導部会 (全4回)、教育課程部会 (全4回)
		柏原東高校の中高一貫選抜募集 人員 80 名 (H29 年度)	柏原東高校の中高一貫選抜募集 人員 60 名	柏原東高校の中高一貫選抜募集 人員 60 名			(柏原東高校) 柏原市教育委員会、中学校長を含めた会議を設置し、中高連携活動の充実や教育課程の改善などに向けた研究を行った。 ◆会議の開催 ・中高一貫推進委員会 (府教育委員会、市教育委員会、高校、中学校7校で構成) (6/25) ◆生徒交流 ・連携授業「書写・書道」を年4～5回実施 ・バドミントン部等が中高合同練習実施 ・学校説明会、オープンスクールを3回実施 (10月, 12月, 1月、計400人参加) ・第6回中高書写・書道合同展覧会開催 ◆教員交流 ・柏原市進路指導研究会との交流会 (9/12)

項目		目標 (目標年次)	H24 年度実績 (計画策定時)	H26 年度実績	進捗 状況	実施事業 (H26 年度)	
重点取組	具体的取組					事業名	実施内容
9 つながり をはぐくむ 学校づくり	40 中高一貫 教育の取組み	—	—	—	—	併設型中高一貫 校の設置	平成 26 年 12 月の教育委員会会議で、南河内 地域における併設型中高一貫校の設置を決定 した。
	41 高大連携 の推進	府教委との包括 協定を締結する 大学 25 大学 (H29 年度)	府教委との包括 協定を締結して いる大学 22 大学	府教委との包括 協定を締結して いる大学 24 大学	○	包括協定締結校 の拡大	関西学院大学と府教育委員会との連携に関す る協定を締結した。(4/30) また、和歌山大学とも同様の協定を締結した。 (3/24)
		大学での講義の 受講により単位 認定を行う学校 25 校 (H29 年度)	大学での講義の 受講により単位 認定を行う学校 19 校 (H23 年度)	大学での講義の 受講により単位 認定を行う学校 17 校 (H25 年度実績)	△ (注)	高大連携の推進	◆大阪工業大学との共催で「科学の甲子園大 阪大会」を開催した。 (10/26、24 校延べ 1,440 名が参加) ◆大阪府立大学と府教育委員会との連携の充 実に向け、調整会議を実施した (3/19)。
		高大連携実施校 の割合 80% (H29 年度)	高大連携実施校 の割合 76.8% (H23 年度)	高大連携実施校 の割合 76.6% (H25 年度実績)			
42 公立大学 法人大阪府立 大学との連携 推進	高大連携講座を 受講する学校数 を増やす 15 校 (H29 年度)	府立大学の高大 連携講座を受講 する学校数 6 校	府立大学の高大 連携講座を受講 する学校 7 校	△	(新)公立大学法 人大阪府立大学 との連携推進	◆高大連携集中講座 (参加 6 校) ・「工学研究の最先端 (担当教員 15 名)」 4 校 12 名受講 ・「総合リハビリテーション学への招待 (担当 教員 4 名)」 2 校 6 名受講 ・「セクシュアリティと看護 (担当教員 4 名)」 2 校 6 名参加 ◆出張講義 10 校延べ 970 名の生徒に対し講演を行った。	

(注) 目標に対する平成 25 年度実績の進捗状況を記載。

項目		目標 (目標年次)	H24 年度実績 (計画策定時)	H26 年度実績	進捗 状況	実施事業 (H26 年度)	
重点取組	具体的取組					事業名	実施内容
10 学習環境 の整備	43 府立学校 施設の耐震性 能向上・大規 模改修 【基本方針 8 具体的取組 131 の再掲】	校舎の耐震化 府立高校・府 立支援学校： H26 年度末に 100%	校舎の耐震化 府立高校 77.6% 府立支援学校 79.3%	校舎の耐震化 府立高校 99.6% 府立支援学校 95.2%	△	耐震性能向上・大 規模改造事業	府立高校 34 校 70 棟、府立支援学校 6 校 10 棟 で耐震大規模改修工事を実施した。
		非構造部材 府立高校・府立 支援学校： 屋内運動場等 の照明器具等 落下防止対策 を H27 年度末 完了めざして 実施	—	実施設計 ・体育館吊り天井 2 校／2 校 ・体育館等の照明 等 14 校／42 校 ・柔剣道場の天井 等 26 校／138 校	△		非構造部材耐震化に向けて、平成 27 年度工事 予定分の実施設計を行った。平成 27 年度未完 了は難しい状況であるが、できるだけ早期に 耐震化を完了する。 ・高等学校 体育館の天井照明等 13 校 柔剣道場の天井及び天井照明等 26 校 ・支援学校 体育館の吊り天井 2 校 講堂の天井 1 校
	44 府立学校 の老朽化対策 と空調設備等 の整備推進 【基本方針 8 具体的取組 130 の再掲】	25 年度に老朽度 調査及び整備計 画策定 以降、計画に基 づき老朽化対策 の実施 (H25 年度～)	昭和 47 完了～ 19 年度完了の 31 校で改築を実施	・「府立学校老朽 化対策方針(案)」 の作成に着手 ・エレベーターの 改修に係る実施 設計 ・内部改修に係る 基本設計 ・外部改修に係る 実施設計	△	府立学校老朽化 対策事業	老朽化対策については、「府立学校老朽化対策 方針(案)」の作成に着手し、府立学校 7 校で 老朽化したエレベーターの改修に係る実施設 計を、府立学校 15 校で内部改修に係る基本設 計及び外部改修に係る実施設計を実施した。

項目		目標 (目標年次)	H24 年度実績 (計画策定時)	H26 年度実績	進捗 状況	実施事業 (H26 年度)	
重点取組	具体的取組					事業名	実施内容
10 学習環境 の整備	44 府立学校の老朽化対策と空調設備等の整備推進【基本方針 8 具体的取組 130 の再掲】	特別教室への空調設備の設置 全体で 98 校 302 教室 (~H27 年度)	・特別教室への空調設備の設置 32 校 95 教室 ・トイレの改修 4 校 ・バリアフリー化 5 校	・特別教室への空調設備の設置 30 校 92 教室 ※累計 (H25~) 62 校 187 教室 ・トイレの改修 4 校 ・バリアフリー化 7 校	○	特別教室空気調節設備整備事業 校舎等維持補修事業 福祉対策整備事業	以下、設備等を整備した。 ・特別教室への空調機の設置 (府立高校 26 校、府立支援学校 4 校) ・トイレ改修 (府立高校 4 校) ・エレベーターの設置 (府立高校 4 校) ・段差解消、手摺り等の設置 (府立高校 2 校、府立支援学校 1 校)
	45 府立学校の ICT 環境の充実による「わかる授業」の実現【基本方針 7 具体的取組 127 の再掲】	府立学校統合 ICT ネットワークの構築 教職員ネットワークと校内イントラネットの統合化により、SSC、校務処理等の作業が 1 台の端末で利用可能 (H26 年度)	府立学校統合 ICT ネットワークの構築 利用用途に応じて 3 つのネットワークを整備	ネットワーク安定化のため、H26 年 6 月に設定の見直しを実施	◎	府立学校教育 ICT 化推進事業	教職員ネットワークと校内イントラネットを統合化し、平成 26 年 4 月から統合 ICT ネットワークとして、全府立学校で本格稼働した。
		校務処理システムの導入 全府立学校で稼働 (H25 年度)	校務処理システムの導入 パイロット校 22 校において実証テスト実施中	H25 年度に目標達成	◎		
		生徒用パソコンの更新 (H28 年度)	H21 年に国費により生徒用パソコンを調達 (15,487 台)	生徒用パソコンの更新を含む学校情報ネットワーク再構築に向け、概要設計を検討	○	学校情報ネットワーク再構築整備事業	学校情報ネットワーク再構築概要設計において、生徒用パソコンのリース化に向けて、機器構成、ソフトウェア等を検討した。

項目		目標 (目標年次)	H24 年度実績 (計画策定時)	H26 年度実績	進捗 状況	実施事業 (H26 年度)	
重点取組	具体的取組					事業名	実施内容
10 学習環境 の整備	46 在宅等で 学習する生徒 への ICT を活 用した支援	遠隔授業システ ムの運用開始 (H25 年度)	—	H25 年度に目標 達成	◎	長期入院生徒学 習支援事業	2校が遠隔授業サポートシステムを利用し た。また、受付フロー・作業チェックリスト の整備を行った。
11 公平でわ かりやすい 入学者選抜 の実施	47 入学者選 抜の調査書に おける目標に 準拠した評価 (絶対評価) の導入	目標に準拠した 評価(絶対評価) への移行 (最短で、H28 年 度選抜での実施)	相対評価による 調査書を活用し た入学者選抜	調査書の取扱い や評価項目等 についての検討及 び方針の公表	○	調査書の改善に 関する検討会議	◆調査書の絶対評価導入への対応につい ては、「大阪府公立高等学校入学者選抜制度改善 方針」において、平成 28 年度選抜から実施す ることを決定し、11 月に公表した。 ◆また、平成 27 年 1 月に平成 28 年度大阪府 公立高等学校入学者選抜方針を公表するとと もに、2 月、中学校 1 年生、2 年生を対象に 絶対評価導入を含めた選抜に関するリーフレ ットを配付した。
				中学校の校長及 び評価担当教員 対象の学習評価 に関する研修会			中学校における学習評価の充実に向けた取組 みを支援するため、研修会を行うとともに、 府内全市町村教育委員会とともに研究協議を 行った。
	48 中学校に おける進路指 導の充実	府教育委員会主 催で各地区の進 路指導の核とな る学校の校長・担 当者会の実施 年 5 回 (H25 年度～)	進路希望調査を 府内全域で集約	進路指導地区代 表者連絡会 6 回開催	進路指導地区代 表者連絡会につ ながるネットワ ークとして、全 ての地区で 4 回 以上の会議等を 開催	○	中学校進路指導 推進緊急支援事 業
	各地区・地域ご とに進路指導に係 るネットワーク の構築 (H26 年度～)				地区ごとに、地区代表者を中心に進路指導に かかる会議等を実施し、各中学校への情報提 供や協議を行った。		

項目		目標 (目標年次)	H24 年度実績 (計画策定時)	H26 年度実績	進捗 状況	実施事業 (H26 年度)	
重点取組	具体的取組					事業名	実施内容
12 活力ある 学校づくり をめざした 府立高校の 再編整備	49 府立高校 の再編整備の 計画的な推進	年次計画に基づ く再編整備の 実施 (目標年次：H30 年度) (H26 年度～)	再編整備方針の 策定	H26 年度実施対 象校の決定	○	府立高等学校再 編整備事業	「大阪府立高等学校・大阪市立高等学校再編 整備計画」に基づく「平成 26 年度実施対象校 (案)」を公表。その後、府議会での議論や保 護者等への説明を経て、平成 26 年 11 月に教 育委員会会議にて最終決定した。(エンパワメ ントスクール 2 校、普通科総合選択制の改編 4 校、募集停止 2 校)